

平成30年9月20日
東北地方整備局
高瀬川河川事務所

「洪水痕跡標示板」の除幕式を行います

～小川原湖防災フォーラムプレイベント 昭和33年9月台風22号から60年～

小川原湖周辺では、昭和33年(1958年)9月26日から27日にかけて、台風22号の豪雨により、死者3名、負傷者17名、床上床下浸水2,801戸という甚大な被害が発生しました。このとき小川原湖の水位は、記録に残る過去最高のT.P. +2.79mまで上昇しています。9月中旬から下旬はこうした歴史的な台風が襲来しており、奇しくも9月26日は伊勢湾台風(1959年)や洞爺丸台風(1954年)の襲来と同日であり、こうした歴史的な災害とあわせ昭和33年9月の惨事を「絶対に忘れない災害」として記憶されることを祈念した”小川原湖防災フォーラム”の開催に先立ち、「洪水痕跡標示板設置除幕式」を実施します。

実施日時・場所等

日 時 : 平成30年9月26日(水) 11:00～11:30
場 所 : 東北町小川原湖公園 中央棧橋前 (別紙-1)
概 要 : (別紙-2)
主催者 : 小川原湖防災フォーラム実行委員会 (別紙-2)

発表記者会 : 八戸市政記者クラブ、三沢記者会

問い合わせ先

小川原湖防災フォーラム実行委員会 事務局

東北町 建設課

住 所 : 上北郡東北町字塔ノ沢山1-94

T E L : 0176-56-3111

F A X : 0175-63-4347

建設課長

かつ ち かずひさ
甲地 和寿

国土交通省 東北地方整備局 高瀬川河川事務所

住 所 : 八戸市石堂三丁目7番10号

T E L : 0178-28-7135 (代表)

F A X : 0178-20-4738

副所長(技術)

しみず の ゆたか
清水野 豊 (内線204)

調査課長

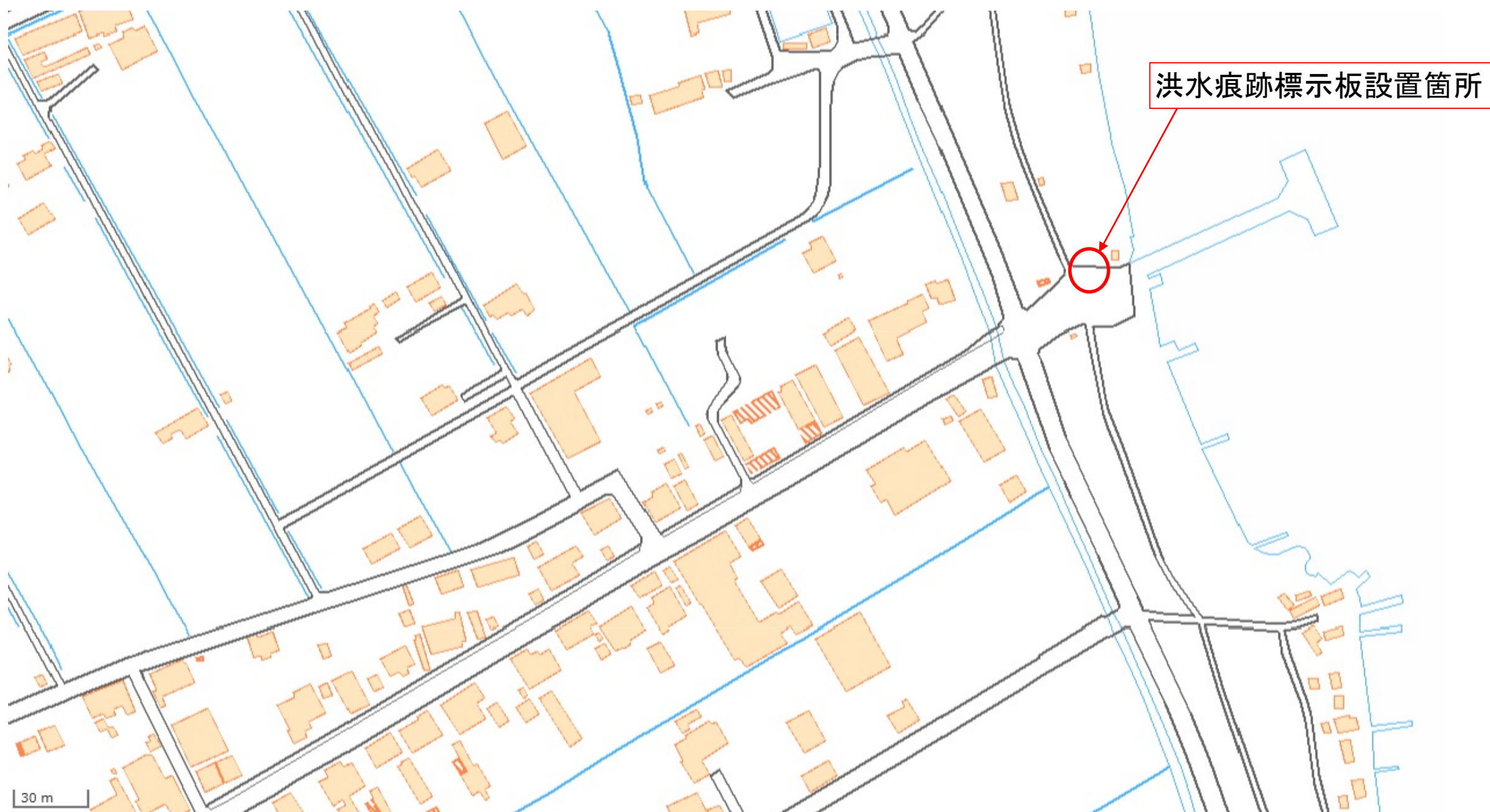
いけだ ひでゆき
池田 秀行 (内線351)

『会場位置図』



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図(タイル)を複製したものである。(承認番号平30東複、第23号)」

『会場周辺拡大図』



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図(タイル)を複製したものである。(承認番号平30東複、第23号)」

小川原湖洪水痕跡標示板 除幕式

日時：平成30年9月26日（水）11:00～11:30

場所：東北町大字上野字南谷地

小川原湖公園（中央栈橋付近）

式 次 第

- 一、 開 式
- 一、 黙 祷
- 一、 挨 拶 東北町長 蛭名 鉦治
(小川原湖防災フォーラム実行委員長)
- 一、 来 賓 挨 拶 八戸工業大学 大学院教授 佐々木 幹夫
- 一、 事 業 経 過 報 告 国土交通省 高瀬川河川事務所長 槻山 敏昭
- 一、 除 幕 式
- 一、 閉 会

小川原湖防災フォーラム実行委員会 名簿

職 名	氏 名
高瀬川流域改修促進期成同盟会 会長 東北町長	蛭名 鉦治
青森県 県土整備部長	福士 祐治
青森地方气象台長	福田 正人
(一社)東北地域づくり協会 専務理事	三浦 清志
国土交通省 東北地方整備局 高瀬川河川事務所長	槻山 敏昭

昭和三十三年九月

小川原湖大洪水から六十年

小川原湖 防災 フォーラム

日時

平成30年

11月15日(木)

13:30~16:30 ※12:30~受付

会場

東北町民文化センター

〒039-2401 青森県上北郡東北町大字上野字上野 191-15
TEL 0176-56-5180

小川原湖の最高水位 (T.P.+2.79m) は、昭和 33 年 (1958 年) 9 月 26 日から 27 日にかけて、台風 22 号がもたらした豪雨によって記録されました。この豪雨により、小川原湖周辺では、死者 3 名、負傷者 17 名、床上床下浸水 2,801 戸という甚大な被害が発生しています。9 月中旬から下旬は歴史的な台風が襲来しており、奇しくも 26 日は伊勢湾台風 (1959 年) や洞爺丸台風 (1954 年) による被害が発生した日でもあります。こうした歴史的な災害と同時期に発生した昭和 33 年 9 月の惨事を「絶対に忘れない災害」として記憶されることを祈念し、小川原湖防災フォーラムを開催します。

- ◆ 記念講演 千種 ゆり子氏 (株式会社ウェザーマップ 気象予報士・防災士)
テーマ『台風・豪雨災害に対する心構え、最新の防災情報の利活用について』
- ◆ 基調講演 佐々木 幹夫氏 (八戸工業大学大学院 教授)
テーマ『高瀬川水系の自然災害』
- ◆ 学習発表会 東北町立上北小学校での防災教育
- ◆ パネルディスカッション
テーマ『絶対に忘れない災害から 60 年
～水防災意識社会の再構築に向けて～』

案内図



洪水痕跡標示板除幕式

日 時：平成 30 年 9 月 26 日(水)

11:00 ~ 11:30

場 所：東北町 小川原湖公園

台風 21 号に引き続き発生した台風 22 号による洪水は、湖水位を既往最高である T.P.+2.79m まで上げ、小川原湖周辺に壊滅的被害をもたらした。この写真は、湖水が最高水位 (T.P.+2.79m) から 1m 下がった時の湖面状況をとらえたものである。



高瀬川 (小川原湖)
旧上北町 (現東北町) 旭町地区の上野財産区
記念碑付近 / 昭和 33 年 9 月洪水

■主催／小川原湖防災フォーラム実行委員会 (高瀬川流域改修促進期成同盟会会長 東北町長、青森県県土整備部長、青森地方気象台長、(一社)東北地域づくり協会、高瀬川河川事務所長)

■お問い合わせ先／小川原湖防災フォーラム実行委員会事務局 高瀬川河川事務所 TEL.0178-28-8944

昭和33年9月 小川原湖大洪水から60年

小川原湖 防災フォーラム

講師ご紹介



千種 ゆり子氏
(株式会社ウェザーマップ)

◆ 記念講演

テーマ『台風・豪雨災害に対する心構え、最新の防災情報の利活用について』

千種 ゆり子氏 プロフィール

千種ゆり子（ちくさゆりこ）／株式会社ウェザーマップ 気象予報士 防災士
埼玉県富士見市出身。一橋大学法学部卒業後、一般企業に就職。幼少期に阪神淡路大震災で被災したこと、また東日本大震災をきっかけに防災の道に進むことを決意。2013年に気象予報士資格を取得し、2014年4月から2年間、お天気キャスターとしてNHK青森放送局に勤務。現在は、テレビ朝日「スーパーJチャンネル」（土）ほかに出演。



佐々木 幹夫氏
(八戸工業大学大学院 教授)

◆ 基調講演

テーマ『高瀬川水系の自然災害』

佐々木 幹夫氏 プロフィール

秋田県由利本荘市生まれ 北海道大学大学院博士課程修了。工学博士。
水工学、自然災害科学、河川工学、海岸工学を専門分野とし、自然災害等に関する論文多数。
あおもりの川を愛する会会長を務めるなど、市民団体活動にも積極的に参加する。
高瀬川河川整備委員会委員長、小川原湖水環境技術検討委員会委員長などを歴任し、高瀬川・小川原湖の河川事業にも関わりが深い。



災害当時の状況を収めた貴重な写真。
小川原湖周辺一帯に被害が及び、住宅などの建物は床上浸水した。

